

ミニバレーボール実施要領

1 競技規則

競技規則は、令和7年度ミニバレーボール協会競技規則によるもののほか、この要領に定めるところによる。

2 コート

- (1) コートは、バドミントン・ダブルスコート（13.4m×6.1m）を用いる。
- (2) エンドラインの後方の、両サイドラインの延長線内側にてサービスを行う。
- (3) ネットの高さは、2.0mとする。

3 チームの構成

- (1) 競技は6人制とし1チームに監督とキャプテンを置く。
- (2) 選手の交替は何人でも行えるが、ボールがデッドの時に審判に告げる。
- (3) メンバーチェンジの方法については、試合前にローテーションかメンバーチェンジかを主審に告げる。

4 招集

- (1) 招集は、ミニバレーボール会場で行うので、係員の指示に従うこと。
- (2) 招集は、競技開始時刻10分前に完了すること。

5 競技方法

- (1) パートごとによりリーグ戦を行う。
- (2) 各パートの順位決定は以下の順により決定する。
 - ア 勝利数の多い順
 - イ 取得セット率の大きい順（取得セット数／喪失セット数）
 - ウ 得失点差の大きい順（総得点数－総失点数）
 - エ 代表者一人による抽選
- (3) リーグ戦終了後に交流戦を行う。但し、交流戦の結果は順位には反映しない。
- (4) 主審、副審、線審はミニバレーボール協会員が行う。

6 ゲームの進行

- (1) 試合前に主審は、両チームのキャプテンを呼び、じゃんけんに勝ったチームのキャプテンにサーブ権かコートかを選択させる。
 - ア スターティングメンバーがアタックラインに沿って並ぶ。

イ キャプテンは主審側に立つ。主審の合図でポジションにつく。

ウ 乱打を3回行う。主審のサービス開始の笛で始める。

- (2) 競技はラリーポイント制、3セットマッチとし、2セット先取したチームをその試合の勝者とする。
- (3) 1, 2セット21点先取したチームが勝ち、1対1の場合3セット目は15点先取したチームを勝ちとする。
- (4) コートは各セットごとにコートチェンジをする。第3セットは、片方のチームが8点を先取した時にコートチェンジする。
- (5) サービスは2回とする。また使用できるサービスはアンダーサービス（下からのサービス）のみとする。
- (6) サイドアウトによりサービス権を得たチームは、ただちに時計の針と同じ方向へ位置を移し、前衛右の選手が後衛右に移動してサービスを行う。
- (7) ボールは、1人1回3人にて3回目に相手コートにネット以外の物体に触れることなく返球されなくてはならない。
- (8) 後衛の選手は、アタックラインより前から攻撃することはできない。

7 番号布及び監督章

- (1) 番号は、自分のチームで作成した1から始まる一連番号を書くこと。番号は背部に1枚付ける。
- (2) 監督は腕章を付けること。

8 表彰

表彰は競技終了後にパート毎に行い、1位から3位までを表彰する。

9 その他

- (1) タイムアウトは1セットにつき1回とする。
- (2) インプレー中は、選手およびボールが支柱、アンテナに触れた場合はアウトとなる。
- (3) ボールがネットにかかった時、1、2回目は有効、3回目はアウトとする。
- (4) 止むを得ず職員がチームのメンバーに入る場合は、そのチームはオープン扱いとし、表彰から除外する。